



THE
GEELONG
COLLEGE

sic itur ad astra





THE
GEELONG
COLLEGE

sic itur ad astra

留学生向け
学校案内

＜ 理念

ジロングカレッジは、通学制および寄宿制をとる合同教会の男女共学校です。生徒一同のために優れた機会を創出し、社会に貢献する意欲を全生徒に吹き込み育む学校です。

＜ 指針

ジロングカレッジは、絶え間なく変化する社会に良い影響をもたらすことに熱意を注ぐ、創造力と思いやりに満ちた学習者の共同体です。

＜ ジロングカレッジについて

1861年に創立されたジロングカレッジには、約100人の寄宿生を含む3歳から18歳までの生徒約1320人が在籍しています。

拠点は都市部にあるキャンパス2カ所ですが、その周囲は、メルボルンの南西にある美しいジロングとサーフコーストへとつながっています。本校は、幅広く充実した学業学習、課外学習、校外コミュニティー学習を通し、進化する未来に対し準備を整えようとする生徒を150年以上も支え続けています。

校長よりご挨拶

人をお迎えすることは、ジロングカレッジにとって大きな喜びです。それが、初めて本校をご訪問いただく生徒とご家族であっても、または、何年ぶりかで再訪してくださった卒業生であっても。

ジロングカレッジは、青少年とご家族のニーズを満たす開かれた包摂的な学習者の共同体です。本校は、生徒が探究心、想像力、自信を高めていくことを願っています。他人を気遣い思いやる思慮深い人間となることを願っています。頭を働かせて問題を解決できるようになり、自主性を持ち、自分と社会に対する責任感を身につけてもらいたいと思います。そして、最高の自分を求めていく生徒になってもらいたいのです。

本校は、知識を超える中身の濃い学習というものを信奉しています。知識は大切ではありますが、それだけでは理解を深め、英知を高めていくことはできないからです。その多くは、学習体験と課題の中で繰り広げられ、また、高い資格と才能と熱意を持ち、生徒のためならさらなる勉強もいとわない教職員の指導激励によってもたらされます。

本校は、また、男女共学を強く信奉しており、礼儀を重んじる環境で青少年の男女が共に勉強し導き合うことを学ぶ場となっています。本校とそのコミュニティでの学習体験がいかに充実して多様であるか、この冊子ではわずかしこご紹介することができません。ですから、ぜひ、本校の教職員、生徒とお会いになり、本校を実際に体験していただきたく、皆様のお越しを心よりお待ちしております。



スキャンしてください。
ピーター・ミラー校長を
紹介します。



Dr Peter Miller (ピーター・ミラー博士)

ジロングカレッジ校長



ジロングについての詳しい
情報をスキャンしてご覧
ください。



一般情報

オーストラリアでの生活

ある学校にわが子を委ねようと決めるのはとても重大なことです。その子を海外に寄宿させるのであれば、それはなおさらに違いありません。お子様が学ぶ地としてオーストラリアを選んでいただけたのは、たいへんうれしいことです！ 斬新、創造的、自主的な考え方が奨励されるユニークな教育を、お子様は受けることができますでしょう。本校は、お子様が学業、人格、職業面で優位に立つための貴重なスキルを伸ばすお手伝いをいたします。

ジロングとその周辺

グレータージロング市

オーストラリアは6つの州からなる広大な国です。ジロングカレッジは南部の州であるヴィクトリア州内にあり、州で2番目に大きな市、ジロングに位置します。美しい水辺、青々とした公園と庭園が広がるジロングは、大学都市の活気に満ち、見どころもやることも豊富です。市内には、様々な大衆向け商店街や高級ショッピング街、博物館、劇場、多数の映画館があります。スポーツ好きへの情報としては、ジロングは、国内屈指のオーストラリアンフットボールチーム、ジロングキャッツの本拠地です。陸上競技場、プール、川沿いに多数の自転車道もあり、スポーツ文化が栄えています。色濃い多文化背景を持ち、地域連帯感にあふれるジロング市では、安全と安心を感じることができます。

生徒は本校から歩いて簡単に市の中心まで行くことができ、この地域の様々な風景も公共交通機関を使って楽に探検できます。スーパーマーケット、銀行、商店、カフェは、歩いてすぐのにぎやかなショッピング街、ニュータウンのパキントン・ストリートにあります。

気候

ジロングの夏(1月)の平均最低気温は13.2C (55F)、平均最高気温は25C (77F)です。冬(7月)の平均気温は最低が5.2C (41F)、最高が13.6C (56F)です。平均降雨量は536mmです。

医療

ジロングには、ジロング・ホスピタル、ジロング・プライベート・ホスピタル、セント・ジョン・オブ・ゴッド・ホスピタルという3つの大病院があります。ジロング市内には開業医診療所、医療関連サービス機関も数多くあり、また、本校寄宿舎は24時間スタッフ常駐の医療センターを備えています。

交通

ジロング市は公共交通機関が整っています。メルボルンまでは電車で1時間、週7日運行で、本数も多くあります。主要駅はジロングカレッジから徒歩15分のところにあり、この地域の観光地へ向かう地方バスもその駅の構内から出発します。メルボルン空港とジロングの間には、シャトルバス(Gullというバス)が定期的に運行されています。地域内の移動はとても簡単で、生徒はどこにでも行楽に出かけることができます。

ジロングカレッジ

本校について

1861年に創立されたジロングカレッジには、約100人の寄宿生を含む3歳から18歳までの生徒約1300人が在籍しています。拠点は都市部にあるキャンパス2カ所ですが、その周囲は、メルボルンの南西にある美しいジロングとサーフコーストへとつながっています。本校は、幅広く充実した学業学習、課外学習、校外コミュニティ学習を通し、進化する未来に対し準備を整えようとする生徒を150年以上も支えています。

これからの社会が必要としているのは、積極的に未来をリードできる自信に満ちた賢い市民です。思いやり、探求心、寛容な心を持つ誠実な若者へと生徒が成長していけるよう、私どもは全力で支援しています。

ミドルスクールは、600人以上の生徒を擁する活気に満ちた学びの場です。クイーンズパークを見渡すこのスクールには、オー

プンな学習空間、学年別エリア、サイエンスセンター、演劇スタジオ、カフェ式売店があり、体育館、フットボール場、コート、競技場も備わっています。

シニアスクールは、ジロング中心部から約3キロメートル離れたニュートンという緑豊かな町の中心部に位置する8ヘクタールの広大な敷地にあります。このキャンパスには、本校創立者が最初に建設した建物から、最新技術を備えたレクリエーションセンターや、音楽舞台芸術センターにいたるまで、優れた施設がそろっています。

男女共学

ジロングカレッジは、男女それぞれの学習ニーズを満たし、男女が共に学ぶ際のニーズにも対応する男女共学校であることを誇りとしています。現実の社会は男女分離の社会ではありません。共学校では、男女が共同で作業を行い、アイデアを交換し、互いから学び取り、自分と他人をより深く理解できるようになります。

共学という環境は、授業で思考と表現の幅を広げ、全員の利益となります。そして、短期的にも、生徒が卒業した後の将来にも、優れた学習成果をもたらします。

共学環境では、男女が共にリーダーシップをとることを学びます。それは、正式な役割の場合もあれば、校内外の打ち解けた状況での場合もあります。

男女の生徒は手を取り合って、リーダー役を務めたり、スポーツをしたり、野外教育キャンプに参加したり、音楽グループを組んだり、演劇やミュージカルを演じたり、娯楽空間を共有したりします。

生徒たちはこうして自己成長、仲間意識、人間関係、適切な価値体系形成の強固な基盤を築いていきます。

このような数多くの経験を通して、男子生徒も女子生徒も、卒業後の社会への準備を整えます。



TripleR

本校のウェルビーイングプログラム

強いウェルビーイング(心身の健康)意識はどんな教育にも欠かすことのできないものです。ウェルビーイング向上を目的に特別に作成したプログラムが、全学年、全生徒の学習過程に組み込まれている必要があるとジロングカレッジは認識しています。

本校の生徒は、全校的な社会性・情動学習プログラム「TripleR(3つのR)」を通して、自分の内面と人間関係を健全に保つ能力、態度、知識を習得します。TripleRはResilience(回復力)、Relationships(人間関係) Reflection(内観)を柱に構成されています。

RESILIENCE (回復力) - I CAN (できる)

挫折は生きていれば避けられない体験であると考えられるように、また、困難は自己成長のチャンスになると思って直面するようにと、生徒は支援されながら求められます。物事を異なる観点からとらえ、柔軟に思考し、必要があれば次善策に切り替え、対処能力のスイッチを入れるにはどうしたらいいか、多様な学習環境を通して学んでいきます。

RELATIONSHIPS (人間関係) - I CARE (気を配る)

生徒は、他人と自分自身への気配りと思いやりを体現するプラスの人間関係を確立し維持していくことを学びます。これには、(身体および感情の両面で)自分を大切にすること、対立を建設的に解決すること、マイナスの影響を認識しそれを受けないようにすること、チームの一員として協力して作業を行うこと、他人に奉仕する活動に参加すること、どこに助けを求めればよいか知っておくことも含まれます。

REFLECTION (内観) - NOW I SEE (見えてくる)


マインドフルネス、目標設定、優れた意思決定、衝動の抑制、感情を特定し適切に表現すること

と、ストレスや不安への対処、時間管理など、生徒は様々な自己管理能力と自己認識能力を学びます。また、学習の過程で、自分の長所と価値(自分と他人、両方の価値)を特定するよう求められます。

TripleRは、また、RUOK(アーユーオーケー)デー、全国いじめ防止の日、メンタルヘルス週間などを、ウェルビーイングの年間記念日として認識しています。



生徒は、他人と自分自身
への気配りと思いやりを
体現するプラスの人間関
係を確立し維持していくこ
とを学びます。



現場で時間を過ごした生徒
は、環境への大きな責任
を感じるようになります。

野外学習

ジロングカレッジは、野外教育、環境教育、冒険教育、先住民教育の中で知識と技術を提供し、生徒が、人生で待ち受ける個人的、社会的、物理的、環境的な困難に対し準備を整えられるようになることを目指します。

Learning Outdoors（野外学習）プログラムはジロングカレッジのカリキュラムになくてはならないもので、就学前教育から第12学年までの全生徒にまたとない機会と体験を提供します。野外学習は、教室でのカリキュラムを野外と結びつけ、実地体験、内観、ディスカッションを通じた学習を可能にしています。生徒は環境保全型の生活習慣を実践し、主な個人的能力と社会的能力を伸ばすよう求められます。このプログラムは、生徒が回復力、創作力、計画性、機転を働かせなければならないレベルの課題と複雑性を提起し、めまぐるしい社会で平和に持続可能な生活を送るために必要な能力を養います。現場で時を過ごした生徒は、環境への大きな責任を感じるようになります。その土地の守り手となり、芽生えた深い責任感を、生活の別の場面へも引き継いでいきます。

主なテーマ

- 教育の焦点を教室での学習と連結
- 実地と理論による環境活動
- コミュニティーと環境への奉仕
- 自己内観、静かな時間、つまり「静寂」
- 物理的、個人的、社会的または感情的な課題
- 包摂的な社会交流
- 先住民教育の組み込み
- 野外における冒険感覚

環境保全

地球の生態系は繊細で複雑であることをジロングカレッジは認識しています。人間が環境にこれまで果たしてきた、そして、これから担っていく役割にはプラスとマイナスの影響があることに気付いています。また、私たちの消費者としての役割も意識しています。

ジロングカレッジは持続可能な地球の未来に真剣に取り組んでいます。本校の方針と活動は、できるだけ短期間で、環境にやさしいものへと進化する予定です。環境とのつながり意識、環境の守り手を積極的に務めようとする熱意を生徒に抱かせる学習プログラムと体験の開発も継続することになっています。今と未来の世代が直面している重大で切迫した環境問題を認識している本校が、環境への影響を低減するための配慮を怠ることはないとお約束します。

将来設計

将来の成功と充実のために、その意味を学び意思決定を行う青少年を支援することは、ジロングカレッジの教育の柱のひとつです。

彼らの多くは、今はまだ存在しない職業に進むことになるので、複数の進路選択肢を持った職業人生と、国際的な暮らしと就労を実現するために、自分自身を知り、自分の興味の対象は何かを知るよう生徒を導く将来教育はなくてはならないものです。

第9学年からVCEプログラムの準備と大まかな進路計画が始まります。各自の学習スタイル、興味の対象、得意なことが、科目の選択、進路についての会話に反映され始めます。生徒は、キャリアエキスポ、進路面談、カウンセリングを経て出した結論に心を弾ませることもあれば、困難を感じることもあります。

第11学年では、内観と見直し、そして場合によっては変更がポイントとなります。この時点で生徒はVCE履修の最中であり、自分の将来を真剣に考えるようになります。進む道についてははっきりとした考えを持つ生徒もいれば、幅広く科目を選択し、柔軟性と多くの技能を身につけようとする生徒もいます。緊張の絶えないこの時期に、生徒はサポートを受けながら目標と内観に基づいて意思決定を行います。この学習と調査のプロセス自体が将来必要な重要なスキルのひとつとなること、そして、特定の科目を選択することは重要であるものの、それだけを勉強すればよいわけではないことも理解するようアドバイスされます。

最終学年は将来計画において最も重要な年です。生徒は再びサポートを受けながら選択肢の検討を促され、可能性の幅広さに触発されます。生徒が明確なプランを設定し、客観的かつ現実的に自分の選択肢を検討できるよう、年間を通じて定期的な面談とカウンセリングのサポートがあります。本校の将来教育プログラム学習では、保護者もまた重要な役割を担います。保護者には、教職員や生徒と定期的に話し合ったり、進路・進学行事に参加したりして、お子様を将来へと導いていただきます。

本校はたいへん堅実で優れた学業実績を有します。VCE成績は優秀で、平均約18パーセントの科目が高得点範囲(+40)に入っています。州平均は8.7パーセントですから、その2倍以上ということです。2014年、大学、TAFE、カレッジの高等教育機関に入学を申し込んだ本校生徒の約98パーセントが一次選考に合格しています。卒業生の80パーセント以上は、第1または第2志望校に合格しています。本校生徒の多くはメルボルン大学、モナシュ大学、ディーキン大学、RMIT大学、スインバン工科大学に進学しています。

本校は、伝統的な学芸科目に加え、ダンス、中国語、哲学、写真、環境科学、スタジオアートも含め33のVCE科目を用意しています。また、インタラクティブデジタルメディアと音楽の職業教育訓練(VET)コースも提供しています。高学年に幅広い科目を用意することは、生徒が興味の対象や特技を発見するのに役立つと考えています。

将来教育は、青少年が将来成功し、社会に貢献し、幸せで有意義な人生を歩むことができるよう準備させることを本来の目的としています。本校の将来教育プログラムには、親元を離れての生活、家計の基本、さらには、地域奉仕やボランティア活動といったライフスキルも含まれています。



スキャンしてください。
本校の進路チームを紹介
します。



リーダーシップと奉仕


生徒は低学年のうちから、リーダーとなったり、教職員や保護者と共同作業を体験したりする機会を数多く与えられ、リーダーシップとチームワークを尊重し重視することを学びます。

バディ、リーダーシップコミッティー、学校および寮のプリフェクト(監督生)、スポーツキャプテンといったリーダーになる機会、また、例えばキャンプや、問題を取り上げたりする場で非公式に指揮をとる機会を通して、多くの生徒が有能なリーダーシップを体験します。


本校は奉仕に熱心に取り組んでいます。絶え間なく変化する社会に良い影響をもたらすことに熱意を注ぐ、創造力と思いやりに満ちた学習者の共同体であり続けるためには、社会を体験し、皆で変えるにはどうしたらいいのかを知ることが大切です。それには共感、理解、謙虚さが必要です。

生徒は本校在学中、多くの奉仕活動を先導します。共同で地元慈善団体への寄付を募ったり、老人ホームで演技・演奏を行ったり、病院を訪問したり、全国的な福祉団体に参加またはボランティア参加したり、外国援助プロジェクトに携わったりします。

第11、12学年生は、各自、学校行事以外に最低16時間の地域奉仕活動を行わなくてはなりません。自分が強い関心を持つ活動に加わり、奉仕対象者と交流できるようなレベルの作業に携わり、つながりと理解を築いていくことが奨励されます。



社会を体験し、皆で変える
にはどうしたらいいのかを
知ることが大切です。



音楽

本校には充実した創造的な音楽プログラムがあり、音楽を通じた学習と発展の機会を生徒に提供しています。

音楽は第9学年からの選択科目で、歴史、理論、技術の面から音楽を学んだり、作曲や演奏を行う機会を提供します。VCEおよびVET科目としての音楽は、ソロやグループのアーティストのために数え切れないほど多様な楽器およびスタイルを対象としています。

本校のミュージシャンは、バンド、オーケストラ、室内楽団、合唱団を通してレベルを初級から上級へと確実に上達させながら、様々な合奏・合唱の機会を与えられます。

本校の音楽プログラムは、定期公演を特色としています。個人にもグループにも、ミュージックイブニングやその他の校内コンサート、校外のフェスティバルやコンクールで公演する機会があります。

ディーキン大学のコスタ・ホールで毎年開催されるファンデーション・コンサートは本校最大の公演会で、学校全体から高評価を得た合奏・合唱が披露されます。生徒はプロが指導する個人音楽レッスンを、幅広い楽器およびスタイルで受けることができます。校内レッスンや放課後レッスンもあり、音楽は生徒の学校生活で大きな位置を占めるようになります。





生徒はプロが指導する個人音楽レッスンを、幅広い楽器およびスタイルで受けることができます。



演劇・ダンス

演劇や動作を通しての学習は、生徒の思考、身体認識力、感情理解、創造性を伸ばします。ジュニアスクールでClassroom Performing Arts(教室演劇)として専門教師による定期授業、公演、遠足が始まり、ミドルスクール学年へと引き継がれていきます。

ダンスは第8学年から選択科目の1つとなります。生徒は、理論と実践の両面から様々なダンススタイルを試みることを薦められ、効果的演技の構成要素、ダンス用語、振付けについて学びます。演技の機会は、制作時間内とイブニング公演で提供されます。選択科目のダンスは、引き続きシニアスクールでダンスを勉強する強い基盤となります。

第9学年における選択科目の演劇では、生徒は演劇技術を考察する機会を持ち、様々な演技と台本のスタイルを学んで理解します。同様に、シニアスクールのダンスでは、様々なスタイルと振付け作業を通して自己表現を身につけていきます。

演劇とダンスを学ぶ生徒は、芝居、ミュージカル、イブニング公演、朝礼でその才能を披露することができます。様々な大型作品の制作は、舞台に立つことを通して、または、衣装製作、セットの設計と組み立て、技術的サポート、宣伝などの裏方作業を通して、舞台芸術に対する生徒の関心を促進します。

演技の機会は、制作時間内とイブニング公演で提供されます。

ビジュアルアート

本校のビジュアルアートプログラムは、自分自身を芸術家とみなす態度を生徒に奨励します。そうすることによって、ビジュアルアートが社会に占める大きな役割を理解し、その独特な位置付けを探ります。

ミドルスクール(第7、8学年)のビジュアルアートプログラムは、版画、陶芸、デジタルデザインといった分野を集中的に取り上げます。また、充実した学校訪問アーティストプログラムによって、様々なスタイルの近代芸術家とともに特別プロジェクトに打ち込む機会を生徒に提供します。

シニアスクールのThe Austin Gray Centre for Design and Creative Arts (オースティン・グレイ・デザインクリエイティブアートセンター)は新手法と創造力のみなぎる活動拠点です。生徒は第9学年からアート、製品デザイン・技術、スタジオアート(テキ

スタイル)、ビジュアルコミュニケーションデザイン、写真など様々な選択科目をとることができ、第10学年とVCE学年には、それにVETインタラクティブデジタルメディアが加わります。

生徒は、創作上の課題を克服し、デザインや製品使用に関する疑問を解決するための実用的な技術やアプリケーションを学びます。プロジェクトの創作では、木材技術とテキスタイル、写真とスクリーン印刷、デジタルメディアとグラフィックデザインというふうに、複数の芸術媒体やスタイルを併用することができます。本校の環境への熱

心な取り組みを裏付けるように、多くのプロジェクトの概要にリサイクル可能素材の使用が顕著に表れています。

ビジュアルアートの学習は、創造力、問題解決能力、計画性、コミュニケーション能力を伸ばします。そして、自分のプロジェクトを設計とスケジュールの通りに完成させる責任を持つことは、時間管理の向上に役立ちます。

ビジュアルアートでは、多様な媒体を用いてすばらしい作品をデザインし完成させ、そして、その作品を校内外の展覧会で披露する機会が生徒に与えられます。





生徒は、様々なスポーツプログラムを通して、体を動かすことを奨励されます。

スポーツ・体育

運動は大切であり、丈夫な身体と健康全般によいことをジロングカレッジは認識しています。

生徒は、様々なスポーツプログラムを通して、体を動かすことを奨励されます。学校の敷地内には、フットボール場、テニスコート、体育館、プール、運動場、庭園などがあり、運動の機会を数多く提供する環境が整っています。

第7学年生からは、生徒全員がヴィクトリア州パブリックスクール連合(APS)のスクールスポーツプログラムに参加します。本校はAPS加盟校として、次を含む幅広いスポーツを提供しています。

APS夏季スポーツ: バドミントン、クリケット、ダイビング、ローイング、ソフトボール、水泳、テニス

APS冬季スポーツ: バスケットボール、フットボール、ホッケー、ネットボール、サッカー

APS春季スポーツ: 陸上競技、水球

APSスポーツ以外にも、馬術、フェンシング、ゴルフ、射撃、スノースポーツ、ライフセービング、サーフィンの機会があります。

生徒は全員、自分の能力に適したレベルに参加し、体力と健康を保つこと、人との交流範囲を広げ、チームの一員として自分の役割を果たすことを学びます。規律、気迫、フェアプレイも身につけます。APSプログラムの他にも、寮内の競技会やその他の友好試合が開催され、教室では体育の授業があります。

センター・フォー・ラーニング・ リサーチ・アンド・イノベーション

有能な教育が生徒の成績にとりわけ大きな影響を及ぼすことを理解する本校は、教職員の職能開発に全力で取り組んでいます。

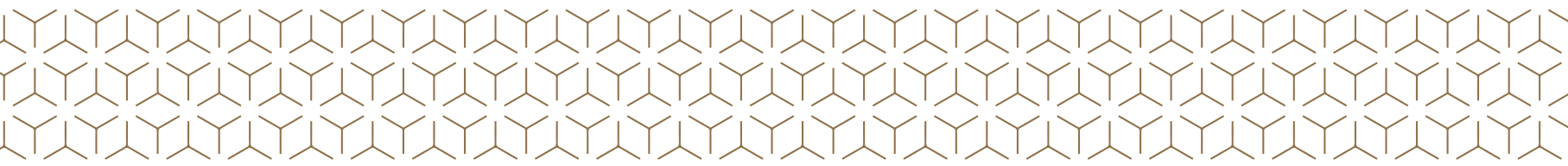
2013年、本校は、第一にジロングカレッジの教職員と生徒と保護者のために、そしてさらに広範には、地域内の教員と学校のためにも、優れた職能開発の場を創出することを目的にCentre for Learning, Research and Innovation（センター・フォー・ラーニング・リサーチ・アンド・イノベーション、略称 CLRI）を設立しました。その構想を実現するため、2014年には主導チームが結成されました。

学習とは、人間の脳と社会の相互の働きかけから生まれる力強く活発な行動であると、CLRIは認識しています。CLRIの学習者集団は、学習の科学と教育の技術を理解することに全力で取り組んでいます。

当センターは、リサーチやプロジェクトを推進するだけでなく、講座や会議も主催します。



**学習とは、人間の脳と社会の
相互の働きかけから生まれ
る力強く活発な行動である
と、CLRIは認識しています。**



The
Centre
for
Learning,
Research &
Innovation

AN INITIATIVE OF THE UNIVERSITY OF CALICUT



スキャンしてください。
元留学生のアンニーを紹介します。

寄宿

ジロングカレッジでの寄宿は男女とも第7学年から始まります。寄宿は、今日にいたるまで本校の歴史の中で重要な位置を占めてきました。とても快適な2つの寄宿舎、男子寮Mackie(マッキー)、女子寮Mossgiel(モスギール)では、オーストラリア地方部や世界各地からの寄宿生約100人が生活しています。

両寮の温かく友好的な雰囲気は、規則正しい共同生活環境で他人と生活することを学ぶという本校の方針を反映するものです。

本校の寄宿生活は、自立と協力の発展を目的としています。規則正しい日課は、勉強時間を計画的にとり、スポーツ活動、社交的な集まりなどに参加することを促進します。寄宿生活には、平日も週末も柔軟性と自由があるので、個人的な活動や優先事項の予定を入れることも可能です。

ジロングカレッジの寄宿には次のような特色があります。

- 多様で活発なコミュニティの一員となることを学習
- 思いやりにあふれ、規則正しく、発展を続ける環境
- 個人の発展を重視
- 専門科目教師の個人指導による学業サポート(追加料金なし)
- 24時間対応の診療所
- Wi-Fiインターネットアクセス
- 週末のスポーツ活動と遠足
- 屋内プール、体育館、テニスコート、Design and Creative Arts Centre (デザインクリエイティブアートセンター)、Keith Humble Centre for Music and the Performing Arts (キース・ハンプル音楽舞台芸術センター)を含む本校全施設へのアクセス

週末のアクティビティ

土曜日には参加必須スポーツがあり、その後も週末には寄宿生のために次のような楽しいアクティビティが多数用意されています。

遠足

寄宿生は年間を通じ、団体行動でビーチ、スポーツイベント、ショッピングセンター、劇場、レストラン、様々なアドベンチャーアクティビティーに出かけて週末を楽しむことができます。

映画

寄宿生は、寮内で最新のDVDを観ることができます。

ジロング

ジロングカレッジはジロング中心部の近くにあり、スポーツイベント、観劇、美術館、展覧会、映画館への頻繁なグループ外出が楽しめます。

友人訪問

保護者が了承していれば、友人を訪問するための外泊は許可されます。寄宿生は土曜日、日曜日に友人を訪問してもかまいません。

生徒福祉と宿泊施設

シニアスクールと寄宿舎には様々な生徒サポートネットワークがあります。校内では本校の牧師と学校心理士が福祉サポートを提供します。寮制度は日々の安定とキャンパスでの帰属意識をもたらします。

寮のサポートネットワークは充実しており、2名の寄宿長が常時対応体制をとっています。各寮は、キャンパス内に住む専門個人指導教師を擁しています。寮母は寮の生徒たちと日々会話を交わします。

合計で約20人の教職員が寄宿生たちにケアと励ましを提供しています。

ジロングカレッジにはフルタイム勤務のインターナショナル・スチューデント・コーディネーター (ISC) がおり、留学生に対する学業、社交、感情面のサポートを担当しています。ISCは、生徒が新しい学校環境に落ち着き、オーストラリアの文化を理解するお手伝いをします。

ISCの役割:

- 第7～12学年のカリキュラムでESL (第2言語としての英語) サポートを教授
- Victorian School of Languages (ヴィクトリアン・スクール・オブ・ランゲージズ) 遠隔モードのサーティフィケートIIからVCEレベルで言語学習をする留学生の監督
- 昼食会の手配 (各ターム1回と、第1ターム開始時の歓迎ランチ)
- 留学生のために社会的、文化的、教育的な遠足を手配

- 生徒、各科目の教員、寮長との連絡
- 本校コミュニティ内で異文化間のコミュニケーションを円滑化
- 学習面、行動面における留学生独特のニーズに対処
- 保護者および後見人とのコミュニケーション



スキャンしてください。インターナシ
ヨナル・スチューデント・コーディネ
ーターを紹介します。



ジロングカレッジへの入学

ジロングカレッジにご関心をお寄せいただきありがとうございます。留学生は全員、認可を受けたエージェントを通して入学申し込みをしてください。認可されたエージェントについては、本校ウェブサイトにあるリストをご覧ください。

手続きはエージェントからステップごとに案内がありますが、次の書類をご提出いただくことになります。

- オーストラリアン・エデュケーション・アセスメント・サービス(AEAS)テスト結果
- 成績表(過去2年分)
- 学業に関する照会状
- パスポート

さらに、本校は対面またはスカイプで生徒と面接を行って英会話能力を評価し、同時に、本校の寄宿生活への適性を確認します。

書類と面接によって入学条件がすべて満たされると、本校はエージェントにOffer of Place(内定)を通知します。通知書はご署名の上、入学料と留学生健康保険(OSHC)料を添えてRegistrar(教務担当)宛てにご返送ください。その後エージェントを通して入学確定をお知らせします。

本校について詳しく知りたいことがありましたら、メールで admissions@geelongcollege.vic.edu.au までお問い合わせいただくか、または、+61 3 5226 3190 までお電話ください。

留学生健康保険 (OSHC)

生徒はオーストラリア滞在期間分の留学生健康保険に加入しなくてはなりません。加入は学生ビザが発給される前に済ませる必要があります。本校はBupaという保険会社を通して生徒の保険を手配します。



年間保険料は約A\$530で、医療行為を受けたり入院が必要となったりした場合に費用支払いの助けとなり、ほとんどの処方薬の代金、救急搬送料金にも適用されます。この保険は歯科、理学療法、検眼、その他の補助的医療サービスには適用されません。

AEAS受験

ジロングカレッジの留学生は全員、入学申し込みの前に必ずオーストラリアン・エデュケーション・アセスメント・サービス(AEAS)のアセスメントを受けることになっています。AEASテストは世界70カ国以上で行われます。受験は自国でのテストに登録しても、オーストラリア到着後でもどちらでもかまいません。テストの会場所在地と日程はwww.aeas.com.auをご覧ください。

AEASアセスメントは、生徒の一般能力、英語力、数学的推論能力を調べるもので、合不合格はありません。生徒の能力と長期的な目標について貴重な情報を得るためのものです。

本校はアセスメントの情報を次の目的に利用します。

- 生徒を適切な学年に入れるため
- 英語を媒体とした授業を受けるのに英語力が十分かどうか確認するため

このアセスメントは、正式な授業を受ける前に生徒が最低必要とする集中英語学習(ELICOS)期間を週数で推奨します。ジロングカレッジはその推奨に従って生徒のELICOSプログラムを計画します。

AEAS受験のメリット

保護者、生徒、留学エージェント、学校は、オーストラリアで学ぶ準備がその生徒にどれだけでできているか、AEASアセスメントで知ることができます。留学生が現地生徒と同じクラスに入る準備が整うのはいつか、どの学年に入れるのかという判断は、アセスメントで得られた十分な情報に基づいて行われます。

英語力が不十分なままオーストラリアの現地クラスで学ぶことは不公平であり、生徒は、学習と社交生活において不利な立場に置かれてしまいます。



留学生英語集中コース (ELICOS)

ジロングカレッジの留学生のほとんどは、本校で授業を受け始める前に英語集中学習を行う必要があります。その期間は8週間から30週間です。



アバロンカレッジ

ここジロングにあるAvalon College(アバロンカレッジ)はヴィクトリア州屈指のELICOS校であると本校はみなしており、両校は強い絆で結ばれています。アバロンカレッジは一流の英語プログラムと入学準備プログラムを実施する全寮制の学校です。総合的な放課後および週末プログラムを実施し、オーストラリアの文化と生活様式を体験する機会をより多く生徒に提供しています。

本校はアバロンと緊密に連携し、アバロン在籍中の本校生徒の進捗を把握します。本校教職員の多くは、アバロンへ出かけ生徒を訪問し、絆を築き始めます。生徒にもまた、オリエンテーションのため本校を訪問します。オリエンテーションでは、本校寄宿寮での1泊宿泊、大食堂での食事、他の生徒や教員と顔を合わせる機会があります。

アバロンカレッジは、大都会の喧噪から離れた35ヘクタールの美しい敷地内にあります。ここでのプログラムを無事修了した生徒は、ジロングカレッジへとスムーズに転入できます。



スキャンしてください。アバロンカレッジのナターシャを紹介します。





後見人の任命

ジロングカレッジに入学する留学生は全員、生徒の保護者の代理を務めることができるGuardian(後見人)を必ず任命していただくことになっています。保護者は、自ら選んだ人物が資格条件を満たしていれば、その人物を後見人に任命できます。または、本校が後見人サービス専門業者を2社推薦することができます。

後見人の役割

後見人は、生徒のサポートネットワークにとって重要な役割であり、ご家族と学校の貴重なつながり役です。後見人は慎重に任命することが大切です。本校が後見人に期待することは次のとおりです。

一般

- 年中無休24時間体制でサポートと支援を提供
- 生徒と定期的に連絡(電話、メール、対面)。これには本校到着後48時間以内の面会も含まれます

- 保護者の代理としてジロングカレッジと連携。書類の署名も含みます
- 学校書類の翻訳
- 保護者と教員の面談や関連するその他の説明会に出席
- 留学生コーディネーターと連携し、生徒の健康、学業成績、出席状況を把握
- 生徒の外泊予定の妥当性を確認

現地案内

- 治安および救急サービスに関する予備知識提供
- 必要に応じて銀行口座開設を援助／手配
- 必要に応じてSIMカード／モバイルデータ購入を援助
- 公共交通機関の情報を提供
- 生徒が利用可能なサポートサービスの情報を提供
- 個人的な問題／悩みについて助けを求める先を紹介



スキャンしてください。マイク・ハウエルとデブ・ファニングを紹介します。

本校見学へのご招待

私どもは本校をご案内できることを楽しみにしておりますので、ぜひ見学にいらっしゃってください。学期中であれば、授業中の学校の様子を体験し、他の生徒や教員と会い、寄宿施設も見ることができます。

お問い合わせ

何かで不明な点がございましたら、Deb Fanning (デブ・ファニング) または Mike Howell (マイク・ハウエル) まで、ご遠慮なくお問い合わせください。

どうぞよろしくお願い申し上げます



Deb Fanning

Admissions Manager
(入学担当マネージャー)

電話: +61 3 5226 3190

Eメール: admissions@geelongcollege.vic.edu.au



Mike Howell

Director of Community Relations
(コミュニティーリレーションズ担当ディレクター)

電話: +61 3 5226 3191

Eメール: mike.howell@geelongcollege.vic.edu.au

Skype: [mike.howell61](https://www.skype.com/people/mike.howell61)



**THINK
GEELONG**

THINK GEELONG

非常に恵まれた教育の機会、優れた交通の便、安全で友好的な地域社会、おおらかなライフスタイル、感動的な観光スポットを持つジロング市。生徒として最高の体験を得るにはなぜここが一番なのか、詳しくはwww.thinkgeelong.com.auをご覧ください。



THE
GEELONG
COLLEGE

sic itur ad astra

The Geelong College (ジロングカレッジ)

PO Box 5, Geelong VIC 3220

電話 +61 3 5226 3190

Eメール admissions@geelongcollege.vic.edu.au

www.geelongcollege.vic.edu.au

CRICOS番号 00142G